

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

大動脈周囲脂肪と大動脈不安定プラークとの関係:3DCTと血流維持型大動脈内視鏡による検討

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者) 小嶋 啓介

<研究期間>

承認日 ~ 西暦 2024年 3月 31日

<研究の目的と意義>

大動脈の動脈硬化症は、急性大動脈症候群や大動脈原性の血栓塞栓症として臓器障害をきたしうる一つの原因として知られています。最近になり大動脈の動脈硬化症のリスク因子として大動脈周囲脂肪が挙げられています。大動脈周囲脂肪とは大動脈の外側に接している線維細胞や脂肪細胞のことを指します。この組織から様々な炎症性サイトカインが放出され、同部位の動脈に動脈硬化を発症させると言われています。またこの動脈硬化性病変から生じた血栓が臓器障害をきてしている可能性があり、大動脈動脈硬化症と大動脈周囲脂肪との関係性を明らかにすることが必要とされています。

そこでCTから大動脈周囲脂肪を算出し、大動脈内視鏡で観察された動脈硬化性状との関係を検討することを計画しました。

この研究により大動脈の動脈硬化の進展に関与する物理学的な作用のメカニズムが明らかになると、新たな診断や治療に貢献できる可能性があります。

<利用する試料・情報の項目>

病歴などの診療記録、血液検査所見、冠動脈造影検査所見、大動脈内視鏡所見、胸部単純CT所見などの情報を電子カルテから収集します。

<対象となる方>

2014年12月から2023年12月までに日本大学医学部附属板橋病院循環器内科にて冠動脈造影を施行した患者のうち、大動脈内視鏡検査を施行しかつ胸部単純CTを撮像している方が対象となります。

<研究の方法>

大動脈内視鏡検査から得られた動脈硬化所見と単純CTを用いて大動脈周囲脂肪を算出し、両者の関係を検討します。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

循環器内科

氏名:小嶋 啓介

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2412 (PHS)8697